

# ご使用方法 No.1

金属接着剤 GM-5520のご使用にあたっては  
性能を引き出すため、計量・混合は  
電子天秤等を使い、正確に行ってください。  
混合後は急速に反応・固化します。10分以内に  
作業を完了できる段取りをしてからご使用下さい。  
60℃-1時間以上の加熱硬化が理想的です。

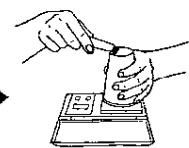
開発製造 有限会社 ブレニー技研  
群馬県 伊勢崎市 三光町 22-13

TEL 0270-20-7056  
FAX 0270-20-7057

ホームページ <http://www.sannet.ne.jp/blenny/>  
新規ドメイン えばきし.com EPOXY-PRO.com

## 使用方法

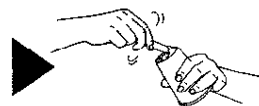
段取りOK  
ですか?  
作業時間は  
10分です。



紙コップの底に天秤を  
使って主剤を計量します。



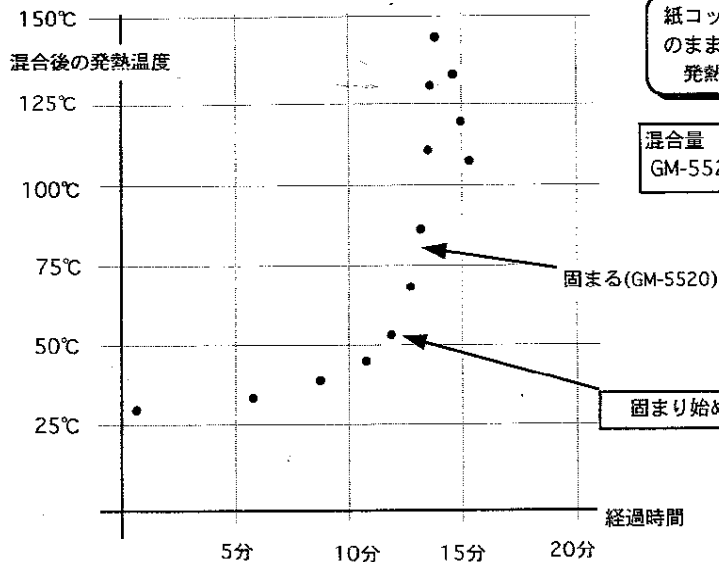
硬化剤を計量しながら  
入れます。



### 作業手順

### 作業方法・注意事項

#### 反応硬化の 進行状態



紙コップのにて50g混合しそ  
のまま放置した状態での反応  
発熱と硬化進行の状況。

混合量 主剤+硬化剤  
GM-5520: 50g=33.3g+16.7g

#### 段取・準備

- ・ 混合後は10分以内で作業を完了する用意をして下さい。 ・ 10分後から急速に固まり始めます。
- ・ 電子天秤、ウエス、ティッシュペーパー、混合用ヘラ、赤外線ライト用意するものすべて揃っていますか?
- ・ 接着してはダメな所にNo.10 (リケイ剤)は塗布してありますか? 孔、キャップボルトなどにも塗布OK?
- ・ 混合まえに、組立確認をして下さい。
- ・ 赤外線ライト、加熱装置にて約50~60℃に鋼材などの母材表面を暖める。
- ・ 油、水、切削オイル等はアセトン、ウエスなどでよく拭き取っておいて下さい。

#### 下地処理 ヤスリ掛け

- ・ 接着してはダメな所にNo.10 (リケイ剤)は塗布して下さい。 キャップボルトなどにも塗布忘れずに!
- ・ 離型剤No.10 の塗布は筆、刷毛、またはウエスなどで2回塗りして下さい。
- ・ 離型剤No.10 の塗布後は、ウエスなどでかるく乾拭きをして下さい。

## ご使用方法 No.2

作業手順	作業方法・注意事項		
<div data-bbox="272 275 428 314" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">使用量の決定</div>	<p>1 体積の積算をしてから・・・体積 (aa.a)cc × 比重 [GM-5520-1.2]-(AA.A)g</p> <p>2 使用する重さ(g)を決めた場合・・・</p> <div data-bbox="500 323 1477 576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例) 正確に使用量の算出したい場合・GM-5520</p> <p>GM-5520を総混合量=(AA.A)gとしたい場合は            主剤の使用量(R)g = (AA.A)g ÷ (R+H) × R            硬化剤の使用量(H)g = (AA.A)g ÷ (R+H) × H</p> <p>混合量=10.0gでは                      混合量=50.0gでは            主剤=(10.0)g ÷ (150) × 100 = 6.7g                      主剤=(50.0)g ÷ (150) × 100 = 33.3g            硬化剤=(10.0)g ÷ (150) × 50 = 3.3g                      硬化剤=(50.0)g ÷ (150) × 50 = 16.7g</p> </div>		
<div data-bbox="272 637 428 751" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>配合比</b>            主剤：100            硬化剤：50         </div> <div data-bbox="272 794 428 995" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>計 量</b>            主剤=1.0g以上            硬化剤=0.5g以上            以上で計量して            お使い下さい。         </div> <div data-bbox="272 1039 428 1161" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>計量スプーン</b>            主 剤 × 2 杯            硬化 剤 × 1 杯         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子天秤(0.1g計量可能なもの)にて、主剤、硬化剤を正確に取り出します。</li> <li>最初に主剤を計量し、次に硬化剤を計量します。</li> <li><b>硬化剤は多めにしないこと！ 硬くなりません。性能も低下します。</b></li> </ul> <div data-bbox="480 746 1484 1083" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>GM-5520の場合(主剤/硬化剤=100/50)</p> <p>例1) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ                      例2) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ</p> <p>主剤を10.2g計量し、風袋0合わせ                      主剤を10.2g計量し、そのまま</p> <p>硬化剤は10.2 ÷ 2 = 5.1g計量。                      硬化剤は10.2 × 1.5 = 15.3gとなる</p> <p>或いは 10.2 × 0.5 = 5.1g計量。                      まで、追加計量する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>付属の計量スプーンでは、主剤×2杯 硬化剤×1杯の割合で計量して下さい。(約15gとなります)</li> <li>計量作業では、主剤と硬化剤はなるべく触れ合わないようして下さい。混ぜると反応が始まります。</li> </ul>		
<div data-bbox="272 1218 428 1257" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">混 合</div> <div data-bbox="272 1279 428 1319" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">塗 布</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すばやく1~2分で混ぜます。紙コップや混合容器のすみに、混ぜ残しのないよう注意して下さい。</li> <li>ヘラ、竹へら、パテヘラ、洋食用ナイフなどで肉盛り、塗布して下さい。</li> </ul>		
<div data-bbox="272 1423 428 1537" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>硬 化</b>            60℃-1時間が            硬化の条件         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常温(23℃)では、混合後、10分程度の間は流動性があり、塗布・肉盛りが出来ます。この間を過ぎると急激に固化が始まります。硬化は、60℃では約20~30分です。更に、60℃にて加熱硬化させます。硬化条件は・・・60℃-1時間以上で、2~3時間程度で更に性能UPします。</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <b>硬化の速さは、</b>            硬化が速い条件            混合量が多い            温度が高い(80℃以上はNG)            厚みが厚い            熱が伝わりにくいものへの塗布         </td> <td style="width: 50%;">           硬化が遅い条件            混合量が少ない            温度が低い(10℃以下はNG)            厚みが薄い            熱が伝わりやすいものへの塗布         </td> </tr> </table>	<b>硬化の速さは、</b> 硬化が速い条件 混合量が多い 温度が高い(80℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布	硬化が遅い条件 混合量が少ない 温度が低い(10℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布
<b>硬化の速さは、</b> 硬化が速い条件 混合量が多い 温度が高い(80℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布	硬化が遅い条件 混合量が少ない 温度が低い(10℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布		
<div data-bbox="272 1686 428 1725" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">加 工</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械加工(ヤスリがけ、フライス、研磨、旋盤等)はできますが、放電加工・ワイヤカットは出来ません。</li> </ul>		

ご注意	先進エポキシ樹脂 / Genus ジーナス / 構造用次世代金属接着剤~緊急修理剤
<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の注意を良く読んでご使用下さい。</li> <li>ご使用後は、冷暗所に保管して下さい。</li> <li>皮膚や手などについた場合は、石鹸で十分に水洗いを行って下さい。</li> <li>製品の目的用途以外には使用しないで下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金属補修剤シリーズ・GM-8300、GM-8100、GM-8500etc</li> <li>● 金属&amp;構造用接着剤シリーズ・GM-5500、GM-5520</li> <li>● 透明エポキシ樹脂シリーズ・GM-9002、9003etc、専用着色剤</li> <li>● 高性能FRP用エポキシ樹脂シリーズ・GM-6600、GM-6800、精密ゲルコートetc</li> <li>● 緊急・速硬化エポキシ樹脂シリーズ・GM-1225、GM-1228etc</li> <li>● 型型剤・アクセサリ製品、各種接着剤・補修剤 ● カラーエポ倶楽部</li> </ul>
最新情報はホームページでご案内しています。	
<a href="http://www.sannet.ne.jp/blenny/">http://www.sannet.ne.jp/blenny/</a> <a href="http://www.blenny.co.jp/">http://www.blenny.co.jp/</a> <a href="http://www.epoxy-pro.com/">http://www.epoxy-pro.com/</a> <a href="http://えぼさし.com/">http://えぼさし.com/</a> <a href="http://カラーエポ倶楽部.com/">http://カラーエポ倶楽部.com/</a>	